

日本地衣学会

No.37

ニュースレター

Newsletter from the Japanese Society for Lichenology

目次	ニュース.....	127
	第8回青空地衣教室(神奈川県伊勢原市大山)のご案内/地域活性化委員会関東.....	127
	会務報告.....	127
	第7回青空地衣教室(千葉市昭和の森公園)の記録/地域活性化委員会関東.....	128
	昭和の森(千葉市)で観察した地衣類リスト/原田 浩.....	128
	観察会に参加して/山下 祐佳.....	129
	雑記.....	130
	鐘を突くウメノキゴケ?/川名 興.....	130

ニュース News and Announcements

第8回青空地衣教室(神奈川県伊勢原市大山)のご案内

二千年もの昔に創建されたと伝えられる大山・阿夫利(あぶり)神社、頼朝が先勝祈願したという大山寺(大山不動尊)に参拝しながら、地衣を観察しましょう。

* * *

日時: 2004年5月30日(日曜日), 13:00~16:00. 雨天決行(荒天が確実な場合中止することがあります, 判断に迷うときは下記連絡先まで)

場所: 神奈川県伊勢原市 大山(大山寺, 大山阿夫利神社下社参道)

内容: 関東周辺の郊外で見られる代表的な地衣類を観察します。

講師: 原田浩先生(千葉県立中央博物館)

参加費: 500円(家族でも同額)

行程

13:00 「大山ケーブル駅バス停」集合(ケーブルの追分駅ではありません。ご注意ください)。「原色日本地衣植物図鑑」を抱えている人に声をかけてください。

[大山ケーブル駅までの交通機関] 伊勢原駅(小田

急小田原線)発大山ケーブル駅行き(毎時05, 25, 45分; 所要時間 約30分)

バス停から登り始め, ケーブル「追分」駅の横から参道のひとつ, 女坂を, 大山寺を経て大山阿夫利神社下社まで登りながら地衣類を観察します。

16:00頃 大山阿夫利神社下社で解散。

持ち物: 雨具を忘れずに。テキストとして「校庭のコケ(全国農村教育協会発行¥1905)を使用します。10~20倍のルーペを用意されるといっそう楽しめます。

申し込み: 以下の世話人まで, 連絡先をお知らせください。

木下靖浩 ponkichi@mtj.biglobe.ne.jp

安斉唯夫 kozaiwa@jcom.home.ne.jp, Fax

03-6780-8818, 電話 044-900-8818(ゼルグブランニング)

(木下靖浩・安斉唯夫: 地域活性化委員会関東)

会務報告 Reports of the JSL Activities



図1.花より地衣.観察会のひとコマ.撮影:安斉唯夫.

第7回青空地衣教室(千葉市昭和の森公園)の記録

忘れていた夏を思い出させるような春の日,第7回青空地衣教室が開かれました.秋田県から静岡県まで1都7県の16名が参加され,地衣を満喫しました(図1).安斉自身は2回目だというのにサルオガセを見落としたり,狙っていたニセマツゲゴケを先に見つけられて危うく参加費を立て替えるはめになりそうになり,頼りない世話人の姿を露呈してしまいました.

- ・開催日 2004年4月11日
- ・場所 千葉県千葉市緑区 昭和の森公園
- ・講師 原田浩(千葉県立中央博物館)
- ・参加者 16名(講師を含む)と1匹

(安斉唯夫・今井正巳:地域活性化委員会関東)

* * *

「昭和の森」(千葉市)で観察した地衣類

葉状地衣

ウメノキゴケ *Parmotrema tinctorum*
ナミガタウメノキゴケ *P. austrosinense*
マツゲゴケ *Rimelia clavulifera*
ニセマツゲゴケ *Parmotrema mellissii*
キウメノキゴケ *Flavoparmelia caperata*

ハクテングケ *Punctelia borreri*
トゲウメノキゴケ *Parmelinopsis minarum*
コナヒメウメノキゴケ *P. spumosa*
コフキチリナリア *Dirinaria applanata*
(フィスキア・オリエンタリス) *Physcia orientalis*
(フィスキエラ・メランクラ) *Physciella melanchnra*
コナアカハラムカデゴケ *Phaeophyscia rubropulchra*
ロウソクゴケ *Candelaria concolor*

樹状地衣

ヤマトキゴケ *Stereocaulon japonicum*
ヒメジョウゴゴケ *Cladonia humilis*
ヒメレンゲゴケ *C. ramulosa*
サルオガセ属 *Usnea* sp.

痂状地衣

コナイボゴケ *Lecanora pulverulenta*
(レカノラ・メガロケイラ) *L. megalochella*
(レカノラ・レブローサ) *L. leprosa* (= *L. cinereocarnea*)
(レカノラ・アルゲンタータ) *L. argentata*
(レキデラ・センダイエンシス) *Lecidella sendaiensis*
オリーブトリハダゴケ *Pertusaria pustulata*
サネゴケ *Pyrenula japonica*
モジゴケ属 *Graphis* spp.
レブラゴケ属 *Lepraria* spp.

(原田浩:千葉県立中央博物館)

観察会に参加して

私は、大学の卒論で地衣類を食べる蛾の仲間であるシラホシコヤガ (*Enispa bimaculata* (Staudinger, 1892)) の生態の研究を行うため、地衣類の事を知りたいと思い観察会に参加しました。観察会に参加するのは初めてで、どんな風に行われるかととても楽しみでした。観察会は千葉の昭和の森記念公園でおこなわれ、千葉県立中央博物館の原田先生の解説のもと公園の木々を一本一本みていきました。はじめは木に着生している地衣類をルーペで見ても種類の違いがさっぱりわかりませんでした。しかし、何か見ていくうちに何回もでてくるウメノキゴケやマツゲゴケはだんだんと見分けられるようになりました。そのうち、ニセマツゲゴケやナミガタウメノキゴケなどがでてきて、何がどんな特徴をもっていたかわからなくなり頭が混乱しました。なかでもフィスキア・オリエンタリスとコフキジリナリアの見分け方がずっとわからなくて苦戦しました。観察の途中で、

自分の卒論の研究題材であるシラホシコヤガの幼虫をナンキンハゼに着生していたマツゲゴケの中に見つけました(図2)。粉芽をまとい地衣に擬態していました。本種の幼虫を地衣類の観察会の場所で是非見つけたかったので、地衣を見る傍らずっと探していたのですが、見つかりませんでした。ところが、その事を観察会の参加メンバーの方に話すと、みんなで一本の木を探しました。するとざっと見ただけで一本の木に10匹ほどのシラホシコヤガが見つかりました。あんなにいないと言っていたのに見つかり、驚きでした。今回の観察会で地衣類の知識が身につく、今までと違った視点で木についた地衣が見られるようになり、面白く感じています。これから今回勉強した事を忘れず、もっと地衣類について勉強していきたいです。

(山下 祐佳：東京農業大学短期大学部環境緑地学科緑地生態学研究室)



図2. マツゲゴケに身を隠すシラホシコヤガの幼虫。マツゲゴケの粉芽を身にまとい、隠蔽型擬態(保護色)をしている。撮影：大石英子。



図 1. 撞木の先端部にはウメノキゴケとナミガタウメノキゴケが生えていた。2004年4月5日撮影。

鐘を突くウメノキゴケ

千葉県安房郡富山町二部, 勝善寺の鐘の撞木(しゅもく)に地衣類が生えていた。

この寺の住職, 井上さんによると, この鐘は昭和50年代までは毎日夕方6時, 夏は夕方5時に突いていたが, 諸般の事情により突くのをやめたという。最近は除夜の鐘, お正月の修正会(しゅしょうえ), お

彼岸に突くだけだということである。なお撞木は, 裏の山に生えていたシュロを使用。

採集し確認した地衣類はウメノキゴケとナミガタウメノキゴケである。鐘突き堂の屋根から北側にはみ出している50cmほどの部分に限って生えていた。

(川名 興: 千葉県富津市)

Lichenology 日本地衣学会ニュースレター
とも, 投稿先は:

原田 浩・〒260-8682千葉県中央区青葉町955-2
千葉県立中央博物館・Fax 043-266-2481.
E-mail: h.hrd3@mc.pref.chiba.jp

(原田浩: 編集委員長)

複写される方へ

本誌に掲載された著作物を複写したい方は, 許諾を受けてください。詳細は本誌31号110ページに。

Notice about photocopying

In order to photocopy any work from this publication, you or your organization must obtain permission. For details, see no. 31, p. 110 of this publication.

学会連絡先は:

山本好和(庶務幹事)

秋田県立大学生物資源科学部生物生産科学科
Tel 018-872-1646 Fax 018-872-1678
E-mail: yyamamoto@akita-pu.ac.jp

日本地衣学会ニュースレター 37号

発行日: 2004年 4月30日

編集: 原田浩・岡本達哉・木下靖浩・棚橋孝雄

発行者・発行所: 日本地衣学会

〒010-0195 秋田市下新城中野

秋田県立大学生物資源科学部生物生産科学科内